



緑とゆとりを守り，各世代が支えあい
心豊かに共生できるまち

洛西ニュータウン まちづくりビジョン

～ もっと もっと 魅力あるまちを目指して ～



平成18年11月
洛西ニュータウンまちづくり検討会

第6 まちづくりビジョンの推進に向けて

洛西ニュータウンで急速に進展する少子化・高齢化やこれに伴うコミュニティの希薄化は、様々なところに影響を及ぼす喫緊の課題ですが、第4で掲げた『緑とゆとりを守り、各世代が支えあい心豊かに共生できるまち』を実現することは、住民にとって更に住み心地のよいまちになる一方で、若い世代の定着や転入者の増加につながってきます。

ここでは、「緑とゆとりの保全」や「世代間の支え合いと共生」を先導し、少子化・高齢化やコミュニティの希薄化の対応にも結びつく4つの戦略と当面の取組内容を掲げます。

また、地域で活動する団体や住民の相互協力のネットワークを構築するとともに、このネットワークを活かし、ビジョンに掲げるまちづくりのあり方やそのための方策を考え、それを推進する体制を掲げます。

【4つの戦略】

【戦略1】美しくゆとりあるまちなみを育て、次世代へ継承するための取組
～自然環境の保全と美しいまちなみづくり～

【戦略2】洛西のまち全体で子育てを支える取組
～子どもを育てる地域環境づくり～

【戦略3】熟年世代が洛西のまちで力を発揮する活動を広げる取組
～熟年世代の活躍できる地域づくり～

【戦略4】洛西のまちで誰もが快適に暮らせる環境づくりの取組
～身近な地域拠点と交通環境づくり～



【ビジョンの推進体制】

まちづくりビジョンの着実な推進に向けて、

- (1) 地域で活動する住民やグループの交流の場を設けることなどにより、相互協力のネットワークづくりに取り組む。
- (2) 地域や事業者、行政などが連携しながら進めるべき取組について、進め方をリードしていくまちづくり推進組織として「洛西ニュータウンまちづくり協議会（仮称）」を立ち上げ、4つの戦略の観点を踏まえた優先順位、取組の担い手や手法、スケジュールなどを協議する。
- (3) ビジョンに関する取組などについて、「まちづくりニュース（仮称）」の発行や「報告会」によって広く地域住民に知らせ、地域とともにあるまちづくりを進める。

1 4つの戦略の推進

ここでは、4つの戦略と、推進体制の構築までに様々な主体が先行して取り組むべき、「当面の取組内容」を掲げる。

【戦略1】美しくゆとりあるまちなみを育て、次世代へ継承するための取組 ～自然環境の保全と美しいまちなみづくり～

洛西ニュータウンのまちなみも今や住民意識の中にしっかりと定着している。まちなみやまちのゆとり、自然環境に対する住民の評価は極めて高く、地域文化の一つとして愛着のある他に代えがたいものになっており、住民がこの地を選び、この地に住み続ける大きな要因の一つになっている。そして、このまちなみや自然環境は、洛西ニュータウンがどこにでもあるようなまちではなく、他にはないまちの強みとして、まちの住民以外の人々にとっても魅力的に映るものであり、今後洛西ニュータウンに人を誘引するために、不可欠な要素である。

このため、多様な世代の居住の促進を前提に、これからも洛西ニュータウンが周辺の景観と調和したゆとりあるまちを守り、次世代に引き継いでいけるよう、必要なルールの見直しを進めるとともに、住民の様々なまちづくり活動を推進する。

◆当面の取組内容

- ①ダウンゾーニング（高さ制限や容積率の見直し）の実施
- ②形態・意匠や色彩等の基準の明確化
- ③地区計画や建築協定、景観協定等の拡大のための制度の周知及び支援

【戦略2】洛西のまち全体で子育てを支える取組 ～子どもを育てる地域環境づくり～

洛西ニュータウンが、様々な世代が共生するバランスの取れた地域社会を維持していくためには、若い世代が洛西ニュータウンに住み続け、また、まちの外からも転入してもらう必要がある。そのためには、子育ての場として魅力を高める必要があり、子どもを安心して産むことができ、健全な子どもに育てることができる環境を地域全体でつくっていかなければならない。

このため、子育て世代のニーズを把握し、住民、事業者及び行政がそれぞれの役割を果たしながら、相互に連携した様々な取組を展開する中で、子どもを育てる場にふさわしい地域環境を整える

◆当面の取組内容

- ①公的住宅管理者による地域住民を対象とした子育てサロンの実施
- ②地域の安心安全ネットワーク形成事業の展開
- ③地域で子育てを支援するファミリーサポート事業の拡大

【戦略3】 熟年世代が洛西のまちで力を発揮する活動を広げる取組
～熟年世代が活躍できる地域づくり～

ニュータウンでは短期間に同じ世代の方々が多数入居するという特徴がある。洛西ニュータウンでも、入居から30年が経過し、定年を迎えて地域で過ごす初期入居者が急速に増えつつあり、そのような中で、団塊の世代がまもなく定年を迎えることになる。

これらの方々は、地域のコミュニティを支える貴重な人材であり、様々なノウハウや知識、経験を活かして地域社会で力を発揮できれば、まちの活性化や他の地域にはないまちの魅力に結びついていく。このため、この世代の方々の地域社会への参加促進や、自主的、主体的な活動への支援により、熟年世代が活躍できる地域づくりを進める。

◆当面の取組内容

- ①住民活動団体等の活動を支援するための情報提供事業の実施
- ②住民活動団体の交流の場の設置

【戦略4】 洛西のまちで誰もが快適に暮らせる環境づくりの取組
～身近な地域拠点と交通環境づくり～

住民の生活を支える身近な存在であるサブセンターは、住区の中心にある、身近な商業などの便民施設が集まる拠点であると同時に住民が集い、語らい、活動できる場として利用し、賑わいを創出していく必要がある。また、サブセンターの機能充実は、住民の生活環境の向上に止まらず、居住先を探している洛西ニュータウン以外の人々にとっても魅力的に映るものである。

このため、サブセンターのあり方について住民が自ら考え、育てていくという視点で、商業の活性化に向けた住民の支援や、コミュニティ活動の場、生涯学習の場、ボランティア活動の拠点としてのサブセンター利用を促進する。

また、サブセンターと同様に、身近な住民の足であるバス交通についても、その利便性向上はまちの魅力アップにつながるものであり、地域全体のバランスや採算性を考えながら、その改善を図る中で住民にとってより身近で便利な交通環境をつくっていく。

◆当面の取組内容

- ①各サブセンターの会館の利用促進
- ②サブセンターのコミュニティ機能の向上